

# 令和8年度 浅井南小学校 教 育 目 標

## (1) 本校の教育目標

健康で、自ら学ぶ、心豊かな児童を育成する。

### 【めざす児童像】

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| ・ よく考え、進んで学ぶ、かしこい子     | (頭をつかおう)  |
| ・ きまり正しく、思いやりのある、やさしい子 | (心をみがこう)  |
| ・ じょうぶで、たくましい子         | (体をきたえよう) |

浅南子、かしこく やさしく たくましく

## (2) 経営方針

「自立・思いやり・感謝

～大人が協力すれば、子どもは必ずよくなる～」

教育目標の具現化に向け、全教職員が「チーム浅南」という意識を持ち、信頼と協働を基盤とした学び合う教職員集団をめざすとともに、子ども一人一人のよさを引き出し、保護者や地域から「信頼される学校」をめざす。

### ア 確かな学力を培う

- ・ わかる、できる、身につく、もっと学びたいとなる授業の実践に努め、学びの基礎となる読解力の育成に努める。
- ・ 個に応じたきめ細やかな学習指導をすすめる、基礎学力の定着を図る。
- ・ 言語活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力の育成に努める。
- ・ Chromebook、電子黒板などのICT機器や学校図書館、新聞などを活用し、情報活用能力の向上とプログラミング的思考の育成をすすめる。

### イ 豊かな心を育む

- ・ 自尊感情を育て、自他の命を大切にする心の教育をすすめる。
- ・ 朝の読書活動や読み聞かせなど本に親しむ機会を充実させ、本好きな児童の育成を図る。
- ・ 体験活動を通して社会のルールやマナーを身に付けさせるとともに、豊かな人間性や社会性の育成に努める。
- ・ 環境教育を推進し、よりよい環境づくりや環境保全への意識を高める。

### ウ 健やかなからだをつくる

- ・ 運動の楽しさを体験させ、進んで運動に親しむ態度を育み、体力の向上を図る。
- ・ 家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」の意識を高め、健康な生活を送るための基礎を育てる。
- ・ 安全教育の充実を図り、けがや事故を未然に防ぐ能力や態度を育成する。

## エ 信頼される学校をめざす

- ・教育の専門家としての使命と責任を自覚した魅力ある教師をめざし、資質の向上に努める。
- ・学校運営協議会を核として子どもたちの健やかな成長のため、家庭、地域と連携・協働して、開かれた学校づくりをすすめる。
- ・大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子どもたちが安全で安心して学べる環境づくりをすすめる。
- ・子どもたちと向き合うための教職員の働き方改革をすすめる。

### (3) 本年度の重点努力目標

- ア 授業のユニバーサルデザイン化の推進と「もっと学びたくなる授業」の実践により、学びの基礎となる読解力の向上を図る。
- イ 教職員の力量向上をめざし、各教科の読解力向上、基礎学力の定着をめざす授業作り、及びそのための研修を継続する。
- ウ 道徳科の授業で話し合いを充実させ、人間関係力の向上を図る。
- エ 異学年交流やボランティア活動を一層推進し、児童の自尊感情（自己肯定感）を高める。
- オ 教育相談体制を充実させ、問題行動、いじめ、登校渋りなどを早期発見し、組織で対応する。そのために、スクールライフノート（心の天気）、いじめに関するアンケート調査、Q - U検査、一日観察日などの記録の情報共有を図る。
- カ ホームページや各種たよりを充実させ、学校の教育活動の状況を **tetoru**（テトル）などにより、家庭や地域に積極的にかつ効果的に情報発信するとともに、学校評価（アンケート）で得られた意見を学校運営に生かす。
- キ 職場環境の向上と多忙化解消にかかる業務改善に向けた学校マネジメントを行うことで、働き方改革をより一層、推進していく。そのために **C 4 t h**、**グーグルクラスルーム**、**tetoru**（テトル）などの積極的な活用を推進し、会議や打ち合わせ時間の短縮、資料のペーパーレス化を図る。
- ク 下校や交通安全の指導、避難訓練等を通して、自分の身は自分で守る力を身につけさせる。
- ケ 一人ひとりの子どもの人権を大切にし、子どもたちに寄り添った指導・支援を心がける。教職員の不適切な指導（教室マルトリートメント）を根絶していく。
- コ 風通しのよい職場環境をめざし、子どもたち、保護者、そして教職員のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態）を向上させていく。
- サ 命を尊ぶ人権教育を全教職員で推進し、子どもたちの健全育成に努める。挨拶、会釈、言葉遣い、マナー、お礼など生きてはたらく力となるよう継続的に指導・支援をしていく。児童会主体で「ふわふわことば」を推進し、広めていく。
- シ 保護者ボランティア活動のさらなる推進を通して、教職員と保護者の協力体制を強固にしていく。授業補助、登下校ボランティア、あいさつ運動、校内活動（清掃、奉仕活動）など、年間を通して子どもたちの活動を見守る体制を整える。
- ス 働き方改革をより一層推進させ、教職員一人当たりの1か月時間外在校時間を45時間以内になることをめざしていく。
- セ 職場の温かい人間関係づくりを大切にし、助け合い、感謝の気持ちをもてる教職員集団をめざしていく。